

議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 180

2017年1月27日



じゅわ〜と
にゅうぜん

12月
定例会

目次

舟見地区の伝統行事 ロウソク祭

入善統合保育所（仮称）本体工事費を可決	2 P
地域おこし協力隊員を募集（常任委員会レポート）	4 P
町政を問う 代表・一般質問（9議員）	6 P
決算特別委員会レポート	15 P
議会改革特別委員会レポート	16 P
入善のちびっ子たち（飯野・柵山保育所）	20 P

議会だよりの表紙写真を募集しています。ぜひご応募ください！

入善統合保育所（仮称） 本体工事費を可決

12月議会は、6日から21日までの16日間開会し、町長から提案のあった平成28年度補正予算7件、専決事項の承認1件、条例の改正など議案8件、議員提出議案1件を審議し、すべて可決した。
また、14日、15日に代表・一般質問が行われ、9人の議員が質問に立ち、論戦が交わされた。

補正予算の概要

一般会計の補正予算は、入善統合保育所（仮称）整備に係る本体工事費や、入善小学校プール整備に係る工事費の増額などである。
一般会計で9億3430万円を追加し、総額121億9357万円とした。
下水道特別会計では1689万円、後期高齢者医療特別会計では438万円を追加した。

◎主な事業

- 保育所整備事業費 7億4850万円
平成30年4月の開所を目標とする入善統合保育所（仮称）整備に係る本体工事費を計上する。
- 放課後児童クラブ推進事業費 405万円
現在、児童センターで実施している入善学童保育を入善小学校内へ移設する。
- 学校施設維持管理費 2880万円
飯野小学校大規模改造に係る設計委託料を計上したほか、入善小学校プール整備に係る工事費を増額する。

○企業立地推進事業費 1220万円
中小企業設備投資促進事業補助金の対象件数の増加に伴い、補助金を増額する。

○担い手確保・経営強化支援事業費補助金 1531万円
農業者の農業用機械などの導入に支援する。

○企画事務費 18万円
平成29年度からの地域おこし協力隊の活用に向け、隊員の募集を行う。



保育所建設予定地

条例の改正

次の条例案などを審議し、可決した。

入善町の職員の給与に関する条例の一部改正
入善町長等の給料その他の給与及び旅費支給条例及び入善町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

入善町税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、関係条文の改正及び整備を行う。

入善町国民健康保険税条例の一部改正

所得税法の改正に伴い、関係条文の改正及び整備を行う。

入善町公民館条例及び入善町公民館使用料条例の一部改正

小摺戸公民館の名称を小摺戸地区公民館に改める。

議員提出議案

地方議会議員の厚生年金制度への

加入を求める意見書

国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望し、意見書を提出する。

賛成全員で可決した

用地の取得について

次の3件の用地取得について可決した。
雇用を伴う企業の用地については、企業からの要請に応じて、町が用地の取得・造成工事を行い、工事完了後、企業に工場用地として売却するものである。

◆シロウマサイエンス㈱工場用地
取得用地 青木1511番地1

面積 8448㎡
取得価格 3379万2000円

◆㈱ウーケ工場用地

取得用地 下飯野204番地1

面積 3万446㎡
取得価格 9117万3354円

◆中央公園用地

取得用地 入膳418番地1

面積 9815㎡
取得価格 5005万6500円

平成27年度決算認定

一般会計については賛成多数で認定、
6特別会計は賛成全員で認定された。

議案番号		氏名												
		井田	本田	中瀬	田中	五十里	五十里	野島	佐藤	中瀬	松澤	松田	山下	谷口
		義孝	均	淳哉	伸一	忠茂	国明	浩	一仁	範幸	孝浩	俊弘	勇	一男
承認第5号	専決処分第4号 平成28年度入善町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	平成27年度入善町一般会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第40号	平成27年度入善町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	平成27年度入善町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	平成27年度入善町育英奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	平成27年度入善町下水道特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	平成27年度入善町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	平成27年度入善町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	平成28年度入善町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	平成28年度入善町下水道特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	入善町の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	入善町長等の給料その他の給料及び旅費支給条例及び入善町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	シロウマサイエンス㈱工場用地造成工事に伴う用地の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	㈱ウーケ工場用地造成工事に伴う用地の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	中央公園整備事業用地の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	平成28年度入善町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	平成28年度入善町下水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	平成28年度入善町農業集落排水特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	平成28年度入善町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	入善町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	入善町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	入善町公民館条例及び入善町公民館使用料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	平成28年度入善町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第7号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

レポート

総務 常任委員会



入善小学校内に移設される学童保育

入善学童保育を入善小学校校舎内で実施

Q 放課後児童クラブ推進事業費として405万円を計上している。その具体的内容は。

A 入善児童センター内で行なってきた入善小学校の学童保育を今後入善小学校校舎内へ移設して行なう。

その設置工事費や備品購入費などを今回補正した。

児童センターでは、午後になると多くの学童が来るため、保護者と同伴して遊びに来ている乳幼児などが安心して使えるという要望が以前からあった。

夏休みなどの長期休暇中は、学童が1日中滞在中のため、学童保育を小学校校舎内に移設した。

Q 小学校内での移設場所や予定される学童の人数、また指導員の確保などは大丈夫か。

A 校舎1階にある第2音楽室を予定している。現在50人の登録だが実質の利用者数は40人と見込んでいる。

1人当たりの面積基準は十分満たしており、体育館も近くにあるため安心して使えるものと考えている。

指導員については、今

後確保に努めたい。

地域おこし協力隊員を募集

Q 企画事務費において、地域おこし協力隊員募集の経費として18万円を計上しているが、就業する分野やその具体的内容は。

A 地域おこし協力隊員は、農業の担い手育成分野において、地域の活性化を目的に本年度中に3名募集する予定だ。

入善町の場合は、大都市圏からの募集となる。JAみな穂とも連携しながら、まずは町内の農業法人などの経営体で就業してもらおう。

将来的には、独立して町に定住してもらいたいと考えている。

Q 協力隊員への支援はあるのか。

A バックアップとして国から3年間限定で

はあるが、1人当たり400万円の支援を受けられる。

200万円は給与費として、他200万円は住居費や車両などの活動費として使える制度である。

1万2000円を差引いた額で、限度額は8万8000円である。

適用期間は、平成30年度から34年度までの住民税に適用される。

ただし、本特例の適用を受ける場合は、現行の医療費控除を受けることはできない。

一般用医薬品も医療費控除の対象に

Q 地方税法の一部改正により医療費控除の対象と具体的内容は。

A 健康の維持増進および疾病の予防に関し、定期健康診断や予防接種など一定の取組みを行なっている人を対象とする。

対象となる支出は、一定の一般用医薬品で、医師の処方箋が無くても購入できるもの（パブロンS錠・ガスター10・ムヒアルファEX・サロンパスなど1500品目）が対象となる。

控除額は、支払額から

こんな意見も

◎入善海洋深層水施設に隣接するレストラン「入善 牡蠣ノ星」への案内板が国道8号にない。

わかりやすく工夫をするべきだ。

◎町では、がん検診率アップを推進しているが、前立腺がん検診の希望者が多い。

60歳の節目だけではなく、常時受診できるようにすべきだ。

● ● 常 任 委 員 会

産業教育 常任委員会

町内中小企業の設備
投資に補助

Q 中小企業設備投資促進事業で1220万円を予算化しているが内容は。
A 当初予算では2000万円を計上してい

たが1220万円の補正を行い、3220万円となった。交付決定済みのシロウマサイエンスのほか、津根精機、津根ワグナー・カーバイト、あいは食品の3社を含め、4件となり補正した。
Q 事業の補助要件は。
A 補助要件は、町内の中小企業（製造業）で資本金が3億円以下、

従業員数が300人以下の企業である。投資金額が2500万円以上の5%、上限が5000万円までとなっている。
Q この事業の利用状況は。

A 平成25年に10件で5545万円、26年は7件で3400万円、27年は6件で2300万円の利用状況である。中小企業の支援に結びついていると思う。
Q この事業は町の単独事業か。
A 単独事業だ。PRについては、新川経済倶楽部などで行っている。

Q この事業の利用状況は。

いたが、今回260万円の補正を行う。体育館の大規模改造に伴い、現在の空調設備を見直すために調査する。結果を踏まえて検討したい。
新川森林組合の高性能機械導入に支援

Q 高性能林業機械等整備事業に53万5千円を計上しているが目的と内容は。

A 作業の効率化を図るために高性能林業機械を導入する。1台で土を掘る、木をつかむ、木を切ることのできる機械だ。

2400万円のうち、国・県の負担が55%、市町（3市2町）の負担が22.5%である。

そのうち、入善町の負担は9.9%の53万5千円である。

◎国道8号の拡幅改良はどのような状況か。
◎イルミネーション事業については、商工会と町が連携して取組んでは。
◎平成30年の米の生産調整はどのようなのか。行政はどのように関わるのか。

こんな意見も



大規模改造される総合体育館



導入される高性能林業機械



パワーアップ！ストップ人口減少

パワーアップ！ストップ人口減少の成果は

町長

2月には4年ぶりに9名
11月は4名の人口増となった



中瀬 範幸 議員（会派アクセス）

問 平成28年度の最重要課題である「ストップ人口減少」として、婚活事業、子育て支援、定住促進などの事業成果は。

笹島町長 婚活イベントを9回実施し、42組のカップルが成立した。その1組が結婚予定である。他に結婚前提のお付き合いの方々もいる。また新婚世帯同居費等補助事業には、13件の申請がある。出産祝い品など子宝支援を充実し、休日土曜日保育など保育サービスを拡充した。第3子の保育料無料化や、第2子の半額化、また保育所担当の看護師配置などを実施した。

支援制度の申請者から「子育て支援、住居費の支援があったから転入した」との声も聞く。今年2月には4年ぶり

に9名、11月には4名の人口増となり、増加への兆しもある。

平成29年度の重点施策は何か

3つの柱をストップ人口減少推進エンジンに

問 平成29年度の重点施策は何か。

町長 現在の課題は「地方創生」と「人口減少の克服」であり、自治体間のアイデア競争が本格化している。

出生数の増加、健康寿命の延伸、移住・定住の促進の3つの柱をストップ人口減少の推進エンジンとして、施策を深化させる。

主なハード事業として、入善統合保育所整備や飯野小学校の大規模改造、学校トイレの改修、中央公園整備、総合体育館の長寿命化、園家山シーサイドロード、工場用地造成などを予定したい。

フィールドミュージアム事業の評価と継承は
培われた「ヒト、モノ、活動」の財産を活用

問 従来、豊かな水環境そのものを天然の博物館「フィールドミュージアム」と捉え文化・歴史・地域資源などの研究が進んだ。その評価は。

いま、地方創生と相まって進める水博物館構想への継承をどう進めるか。

町長 平成13年度新川広域圏水博物館構想に基づ

き、ソフト事業を中心として水博事業を展開してきた。

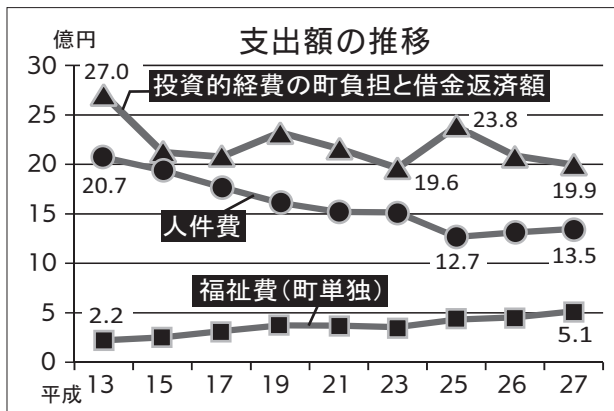
その取組みの中で、資源の調査・研究、地域学芸員の養成、フィールドツアーの実施など、多くの「ヒト、モノ、活動」が生まれ、これらの地域資源は、貴重な財産として蓄えられてきた。

一方で、水のまち入善の魅力を発信する独自の水博物館構想についても、実現の可能性の模索、調査・検討を重ねてきた。

全国で地方創生の機運が高まる今こそが、「水」をテーマとした「水博物館」構想に本格的に着手する適期と捉えている。

計画段階では、従来培われた資源を確実に継承し、大いに活用したい。

町民一人当たりの借金残高が過去最高
大型事業を集中しないようにすべき
町長 支障のないよう基金に積み立ててきた



問 町債残高は125億円余となり、町民一人当たりの額は過去15年で最も高くなった。その返済額は、約12億円で類似町よ

り2億円近く多い。町債は施設などの投資的経費に充てられるが、一般財源からの支出と借金返済額で約20億円となり、全体の4分の1だ。

問 町の減債基金は40億円となり、富山市を超えた。税金を基金に貯め込むのではなく、子育て支援などに回すべきだ。

梅澤キラキラ商工観光課長 国は、中小業者の賃上げのために、取引条件などの改善の検討会議を開いている。

問 フルタイムで働く臨時保育士が24人いることは重大な問題だ。臨時職の年収は正職の6〜7割程度で育児休業もない。黒部市は育児給付金を保障しており、町も改善すべきだ。

これに対し、町単独の福祉への支出は6億円程度だ。暮らしへの予算充実に必要なものでも集中しないようにすべきだ。

町長 今後、統合保育所建設、学校や総合体育館の大規模改造、中央公園改修など大型事業を計画しており、相応の町債を見込んでいます。

町内働く人の所得と町民の年金額はどうか
働く人の所得は横ばい
年金は3年で4%減

清田結婚・子育て応援課長 長く勤めている臨時保育士も採用試験を受けられるようにしており、今年も3人合格した。待遇改善も図っている。

町債残高が高水準で推移する可能性もあり、財政運営に支障のないよう基金に積み立ててきた。

町長 国は、製造業などが振るわず税収不足になるとしている。町で働く人の

上浦住民環境課長 町内の昨年一人当たり平均の年金所得額は、3年前より4%の減となった。

黒部市のように臨時保育士に育児給付金を雇用体制が違う
黒部市は育児給付金を

の今年の所得はどうか。町もトヨタなどに下請単価の改善を求めていくべきだ。

下落よりも大きければ、賃金に合わせ支給額が下がる。



松田 俊弘 議員 (日本共産党)



新たなブランド米に向けて

米の新品種の作付けをどう考えるか

町長 県下一丸となって戦略的に進める



五十里 国明 議員

問 県は、コシヒカリを超える新品種の米の作付面積を、2018年に最大で1000haを目指すとしている。また、新品

種で富山米のブランド力を高め、産地間競争に勝てるようにしたいとしている。

町長は、町の基幹産業は農業と述べているが、その新品種の栽培に早い時期から取組むべきと考えるがどうか。

町長 県では、平成24年度から米の新品種の開発を進めている。

その目標は、激化する米の産地競争に打ち勝つため富山県主力品種である「コシヒカリ」を超える食味が良く、高品質な新品種の育成導入である。

① 低タンパクで美味しいこの品種の特徴は、

② 高温でも白未熟粒が少なく高品質である
③ 草丈が短く倒伏しない
④ いもち病に強く、農薬を節減できる

このように、現在の「コシヒカリ」の弱点を克服し、美味しさを最大限に発揮した品種で新たなブランド米として、大いに期待されるものである。

なお、新品種への作付け転換は、県下一丸となつて戦略的に進めていく必要がある。

この新品種は農家の所

得向上に、大いに期待できるものと考えている。

入札で何件の不落物件があるのか

11月末で10件

問 今年4月に、入札制度が改正され、価格が事後公表になった。

入札で何件の不落物件があるのか。

梅津副町長 11月末までの工事入札数は122件あり、入札参加者全社が予定価格を上回ったことによる、入札不落件数は10件であった。

工期が限定されていることから、この内、最低価格が予定価格の10%以

内のところと、随意契約を行っている。

不落の原因は何が考えられるか

個々の工事によってさまざま

問 不落の原因は何があると思うか。

副町長 個々の工事によってさまざまである。

工事によって複数の工程を求める工事もあり、業者の専門外の工種についての積算の乖離があるのではないかと考えている。不落となった場合においては、その都度その原因を調査し適宜対応して入札を執行する。

入善町の健康寿命は何歳なのか

町長 本町の健康寿命は把握できていない

問 当町の健康寿命は何歳なのか。また、健康寿命を延伸させることを課題としているが、何歳を目標としているのか。

町長 健康寿命とは、「健康上の問題で、日常生活が制限されることなく生活できる期間」とさ



健康寿命延伸に頑張る保健センターの職員

健康寿命の算出にはいくつかの方法があり、国が算出したデータによると、平成25年の富山県の健康寿命は、男性は71歳で、女性は74・8歳である。

残念ながら、国が市町村別に算出したデータはなく、国の基準により算出した本町の健康寿命は把握できていない。したがって目標値も定めていない。

データヘルス計画を作成しているのか

平成27年度に策定した

問 町は、データヘルス計画を作成しているのか。データを健康増進にどのように活用しているのか。

町長 データヘルス計画とは、医療保険者が医療記録や健康診断情報などを活用し、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画である。当町では、平成27年度に策定した。

データを総合的に分析した結果、入善町の国保加入者では、「高血圧で重症化の傾向にある」と

いう課題が見えてきた。

町では、この課題に対する短期的な目標を「血圧の数値が160/100以上の人数の減少」と「特定健診の受診率60%」と設定し、重点的に取り組むたいと考えている。具体的なデータの活用

としては、高血圧対策として「メタボリック予防ヘルスクッキング」での減塩に配慮した食事の提案や、サンウエルdeフェスタでの減塩に関するチラシの配布など、さまざまな場面で啓発活動を推進している。

また、特定健診の受診率向上対策として、健診データを活用し、未受診の方にハガキや電話による受診勧奨を積極的に行っている。

保護者に対して食育をしていくべき
家庭での食育推進に有効な方法だ

問 セミナーなどを開催し、保護者に対して食育をしていくべきと考えるがどうか。

板倉教育委員会事務局長 町では小学校1年生において食育講座を組み合わせたPTA親子給食会を開催しており、「食」の大切さの理解と、「食」の楽しさについて啓発を図っている。

PTA連絡協議会と連携したセミナーの開催についても、家庭での食育推進に有効な方法と考えられる。PTA連絡協議会へ連携について働きかけするなど、工夫をしていきたい。



中瀬 淳哉 議員

国の検討会により想定された津波への対応策は

町長 迅速・円滑に避難できる体制の構築を目指す



津波対策が求められる入善海岸

問 検討会の報告によると、入善町では、県内最大となる7・5mの津波が想定された。その対応策は。

町長 7・5mの津波がどこの地点で想定されるのか、浸水範囲はどうかなど、いまだ明らかにされていない。

県のシミュレーション調査の結果が早く公表されるよう、要望している。詳細な影響が判明しない中でも、できる限りの対策が必要と考える。特に、命を守るためには迅速な非難行動が不可欠であり、避難情報をできるだけ早く、広く伝えることが重要である。

そのためには、防災行政無線のデジタル化や防災ラジオの普及促進、さらには、津波警報・注意報の発表時に自動で無線

放送を行うシステムなど、情報伝達の強化を図ったところである。

また、東日本大震災の発生を受け、地域の自主防災会が主体となって行う訓練に対する補助制度の創設や沿岸地域における海拔表示、防災マップの作成などを行っている。津波における情報提供や地域における訓練・避難方法の検討などを通して、関心と意識を高めていただくよう努める。

**獅子舞保存会の公的施設利用料に減免を
施設の設置趣旨に照らし合わせ判断する**

問 獅子舞保存会が利用する公的施設において、利用料の減免を考慮してはどうか。

教育委員会事務局長 町内各地区では、保存会などを中心に、獅子舞が行われている。練習場所として、多くの団体が、地元の自治公民館や地区公民館、あるいは、神社などの境内を活用しているのが現状である。

公的施設での獅子舞保存会への利用料金の減免

などといった措置については、施設の設置趣旨に照らし合わせた上での判断が必要である。

**公営の共同納骨堂に対し
調査を
慎重に取り扱う必要がある**

問 共同納骨堂に対する調査を行う考えがあるか。
住環境課長 関係団体と連携した情報収集や、他自治体の事例などの把握も含め、あり方について、慎重に検討を進める。



五十里 忠茂 議員



町の新たな魅力と期待される「サクラマス」

ふるさと納税の返礼品を通して 魅力ある町の特産品開発を 町長 民間業者との連携を研究する



田中 伸一 議員

問 町は、ふるさと納税制度の創設から9年間、どのようなスタンスで、取組んできたのか。

図るため、魅力あるふるさと特産品の開発を通して、町の経済活性化に取り組んでいく考えはないか。

町長 町は、ふるさと納税制度の導入当初から一貫して「ふるさと入善」を応援したい納税者からの気持ちを受け止め、寄附を受けてきた。

町の思いは、パンフレット記載のキャッチフレーズ「がんばれ！ふるさと」に表れている。

ふるさと納税の増加を図るためには、「ふるさと」として、応援したくなる「選択される町」として積極的にまちづくりを取組み、多くの共感を得て、新たな「ふるさと

入善」の応援団に、なってもらうことが重要だ。

納税者への返礼品は、随時見直しをしている。

近年、深層水仕込みのカキが町の魅力として新たに加わった。

さらに先月、近畿大学と入善町、入善漁協の共同プロジェクトによるサクラマスの養殖実験が報道発表された。この事業が、軌道に乗れば新たな町の魅力となることを期待している。

このような取組みが、お礼の品として、町の地域経済の活性化が図られるような好循環を築くことができれば理想と考える。

今後の返礼品見直しは、寄附者に町を応援して貰えるよう、入善町の特色を出し、かつ町のPR効果を高めることを考えて行っていく。

高齢運転者の事故が多発 町の対策を示せ シルバードライビングスクールを実施

問 全国各地で高齢運転者による重大事故が頻発している。

町民の安心・安全な暮らしを守る観点から、この事態をどのように捉えているのか。事故防止対策として啓蒙、啓発活動などを、どのように取組んでいるのか。

免許返納者に対しての支援策は、

総務課長 町は、高齢運転者に対し、11月24日・25日に入善自動車学校で、

体験型シルバードライビングスクールを開催した。65歳から87歳までの30人が受講した。

運転免許自主返納者は、平成27年に61名、今年は、11月末で52名となり増加傾向にある。

免許返納は、町民の生活に直結する問題だ。町は、さまざまな施策や事業を連携し、高齢者の移動手段やJAみな穂の協力を得て、日用品や地場産品を自宅に届ける、買い物宅配支援などに努めている。

今後は、国や県の動向を注視し関係機関と連携を図り、「効果的な交通安全教育の推進」「運転免許自主返納の推進」「公共交通を利用しやすい環境の整備」などの支援策を検討し、高齢者の交通事故防止に努めていく。

テーマは「水」
 フィールドミュージアムの基本理念は
 町長 黒部川が育んだ水は町づくりの原点である



ジオ資源の発掘が重要

問 入善町フィールドミュージアム構想について中心テーマは「水」とあるが、その基本理念は何か。

町長 黒部川扇状地の豊かな自然をはじめ歴史や文化、農業や工業など、私たちの暮らし全てが、黒部川が育んだ水の恵みに由来するものであり、町づくりの原点であることを理念としている。

また、町には、状流水、表層水、海洋深層水の特徴ある3つの水があり、フィールドミュージアム構想の大きなテーマと位置づけた。

問 将来へ残せるメッセージとして、町内全域に眠っているジオ資源の発掘が重要ではないか。いかにして掘り起こしていくのか。

どのようにして町民の

理解を得ていくのか。

町長 これまで検討してきた地域資源の他に、まだまだ魅力的な素材や活動があると考えている。

その掘り直しには、住民の協力と理解が不可欠であり、住民が主体となり、天然の博物館「フィールドミュージアム」を創り上げていくことが重要であると考えている。

問 近年、町内の数力所でホテルの生息が見受けられ、保護や繁殖に取り組んでいる地域もある。町内全域を「ジオトープの里」として、ミュージアム構想に組み入れてはどうか。

町長 ホテルは清らかな

水の象徴であり、ホテルが生息する豊かな水環境を保全する活動もフィールドミュージアムの大きな柱と位置づけたい。

イノシシの増加に対して電気柵のネット化を県内の事例を参考にし対応策を検討したい

問 今年は、クマ、サル以外にイノシシの増加が目立ったが、被害状況をどのように把握しているか。また、今後、電気柵のネット化なども考えてはどうか。

真岩がんばる農政課長

舟見地区の山際の水稻において、イノシシによる被害が3年ぶりに発生した。被害面積は、85aと把握している。舟見城址館の芝生も被害を受けており、実際には調査以

上に被害は大きいと認識している。

電気柵のネット化については、県内の事例なども参考にして随時対応策を検討していきたい。

問 有害獣の進入路となる河川の両岸や河床の定期的な除草も必要ではないか。

がんばる農政課長 今年は、河川管理者である県土木事務所へ草刈りを要請した。

今後も引き続き要請していきたい。

問 降雪前の電気柵の撤去に伴い、市街地へのイノシシの侵入が懸念される。恒久的な電気柵（恒久柵）の設置を検討すべきではないか。

がんばる農政課長 地域住民の安全確保のためにも何らかの対応が必要であり、慎重に検討したい。



野島 浩 議員



1人目の保育料軽減を

第一子の保育料軽減で子育て支援を

町長 その考えは持っていない

問 人口減少を食い止めるには、現在住んでいる町民が魅力を感じる町にすることが肝心だ。2人目の子どもを産んでもら

うためにも子育て支援として1人目の保育料を軽減すべきではないか。

町長 休日保育や病児移送事業など充実させている。町の保育料は国の基準より4割以上低く、1人目の保育料軽減の考えは持ち合わせていない。

問 町の就学援助を受ける子どもが増えている。生活保護家庭では大学進学率が極端に低く、奨学金の返済も大変だ。ひとり親家庭への町の支援をさらに強めるべきだ。

町長 ひとり親家庭にはさまざまな支援を行っている。

問 学童保育には社会的困難を抱えた子どもたち



井田 義孝 議員

がおり、指導員は大変だ。町の責任で専門家を雇用し、役場職員と現場指導員を支援すべきだ。

結婚・子育て応援課長

役場職員も学童指導員も研修へ行っている。今後、さらに現場と密接に連携し、支援を強めたい。

民有海岸林のマツクイムシ対策に町も支援を
県の森づくりプラン策定後検討していく

問 海岸林のマツクイムシ対策について県は、民有地でも地元が自主的に対策を講じる時には支援すると述べた。町も積極的に支援するべきだ。

窪野建設課長 今年度、県が被害の詳しい実態調査を行った。その結果に基づき森づくりプランが作られる。町として関わりを検討していく。

問 消防防災センターに集中してある緊急備蓄品を各地域の避難所へ分散し、海寄りの保育所と介護施設にもライフジャケットを配備すべきだ。

総務課長 備蓄品は避難所となる小中学校への配備も含め検討していく。津波はすぐに逃げるのが大切で集団避難などを検証していきたい。

乗り合いタクシートの予約システム検討結果は町に合うシステムを
検討

問 乗り合いタクシー「ウチマエくん」の前日

予約改善のため、利用調査をふまえ予約システムの検討をするとのことだったが、結果は。

キラキラ商工観光課長

岐阜県養老町の予約システムを視察した。経費は安いがバス停方式で、専用車6台での運行だ。移動距離が長い入善町で導入した場合、1便の運行時間が長くなり、専用車の導入が必要など検討課題が多い。

今後も運行体制を改善しつつ町に合うシステムを研究していく。

問 障がい者の付添人は無料になっているが、要介護者の付添人は有料だ。認知症の人を介護する家族は大きな負担であり無料にすべきだ。

キラキラ商工観光課長

県内でも例が無く、先進事例を研究したい。

平成27年度 決算を認定

決算特別委員会レポート

審査の経過

決算特別委員会は、9月21日に第1回の委員会を開催し、10月13日、17日、18日に担当課長の出席を求め、資料に基づき説明を受けた。質疑など6回の委員会を開催して、慎重な審査を行った。

10月18日には舟見の足湯施設や東洋紡前二ユータウン、東町住宅、上青小学校など、6カ所の事業の整備状況を視察した。10月26日には総括質疑、討論、採決を行い決算特



早期整備が期待される入善駅周辺

別委員会の審査を終了した。

付託案件は全て認定

一般会計の決算認定については賛成多数、公共下水道や国民健康保険などの特別会計6議案については、賛成全員で認定すべきものと決した。

主な審査意見

保育士確保と待遇改善を

結婚・子育て応援課を

新設し、第3子の保育料完全無料化や保育所、学童保育の充実、子宝支援金の拡充など、子育てしやすい体制づくりへの積極的な取組みは評価する。一方、入所児童の低年齢化、保育ニーズの多様化から、保育士不足や負担増が懸念される。保育士確保や待遇改善に努力されたい。

公共交通網の整備を

高齢化社会を迎えた現在、町民の足を支える公共交通網の役割が重要になっている。町営バスや

デマンド交通ウチマエくん、新幹線ライナーの利便性向上を図り、利用者増のために柔軟に対応されるよう求める。

青年就農者の自立支援を

青年就農者の自立や経営の黒字化を促すため、支援を強化すべきだ。

営農目標や経営計画の確認をしながら、関係機関と協力して指導を行い、担い手の育成に努められたい。

入善駅の周辺整備を

国の社会資本整備総合交付金の減額など、補助財源不足から、入善駅の周辺整備計画が停滞している。駅は、町の顔として、また交通結束拠点として重要な施設だ。

早期の整備に向けて、国、県の補助財源確保に努められたい。

平行在来線・交通網対策特別委員会 利用者増に向けた分析と対策を検討

12月16日に並行在来線・交通網対策特別委員会を開催した。

新幹線ライナーについては、町民の利用は増加傾向にあるとのことだ。

今後に向けて、より一層利用者増を図るため、状況の分析や運行の工夫など、課題に向けて努力が必要だ。

は、朝夕の通勤・通学に利用されている。長期休暇期間中においてはスクールバスの役割も担っている。続けて運行していくのが望ましい。

あいの風とやま鉄道は、平成27年度は黒字だったが、経営環境の厳しさは、今後も続くものと考えられる。

のらんマイ・カーについては



利用者増が期待される公共交通

委員会レポート

入善町議会では、6月議会最終日に「議会の活性化」を目的として、全議員で構成する議会改革特別委員会を設置し、これまで9回の特別委員会、3回の検討委員会などを開催し、議員報酬や定数、政務活動費の取扱いなどについて議論を重ねています。

また10月には、町民の意見を聞かさせていただくために、「議会に関するアンケート調査」を行いました。ご協力いただいた皆様にはありがとうございました。(アンケート結果は下記のとおり)

協議の結果、次の事項について合意しました。

【合意事項】

○政務活動費について

- ・支給額は現行のままとする
- ・前払い方式から後払い方式へ変更する
- ・領収書などについて28年度分からインターネットで公開する
- ・簡単な手続きで、事務局で閲覧できるようにする

○議員定数について

- ・現行のままとする

○議員報酬について

- ・現行のままとする

議会改革は「ここまでやったから十分」というものではなく、議会にとって不断の課題です。今後も引き続き、改善などについて議論を重ねていきます。

議会改革特別委員会の開催状況

6月22日(水)	第1回特別委員会 ・正副委員長の選挙	9月21日(水)	第6回特別委員会 ・アンケート調査(案)について
6月22日(水)	第2回特別委員会 ・委員会での協議事項について	9月27日(火)~29日(木)	・アンケート送付者抽出作業
7月22日(金)	第3回特別委員会 ・議員定数と報酬について	10月21日(金)	第7回特別委員会 ・政務活動費の領収書公開等について
8月19日(金)	第4回特別委員会 ・議員定数と報酬について	11月10日(木)~11日(金)	・議員定数と報酬について
9月2日(金)	第5回特別委員会 ・アンケート調査等について	11月15日(火)	・アンケート集計作業 検討委員会
9月14日(水)	検討委員会 ・アンケートの素案作り作業	11月22日(火)	第8回特別委員会 ・議会アンケートの結果(速報値)について
		12月5日(月)	・政務活動費の領収書公開等について 検討委員会 ・議員定数について ・今後の議論内容等について
		12月15日(木)	第9回特別委員会 ・アンケート結果について ・政務活動費の領収書公開等について ・議員定数と報酬について



アンケートの作業風景

議 会 改 革 特 別

アンケート結果をお知らせします

【調査の概要】

調査区域：入善町内全域

調査対象：無作為に抽出した入善町内在住の満18歳以上の方1,000人

実施期間：平成28年10月15日～10月31日

回 答 率：46.5%（465通）

問 性別について

①男性	210人	45.2%
②女性	250人	53.7%
③不明	5人	1.1%

問 議会に関心がありますか

①ある	107人	23.0%
②少しはある	251人	54.0%
③ない	102人	21.9%
④未回答	5人	1.1%

問 年代について

①10代	4人	0.9%
②20代	38人	8.1%
③30代	29人	6.2%
④40代	66人	14.2%
⑤50代	79人	17.0%
⑥60代以上	245人	52.7%
⑦不明	4人	0.9%

問 議会を見たことがありますか

※重複回答あり

①議場で傍聴したことがある	33人	7.0%
②インターネットで見たことがある	11人	2.3%
③ケーブルテレビで見たことがある	203人	42.9%
④ない	223人	47.0%
⑤未回答	4人	0.8%

問 議員報酬について、どう思いますか

※重複回答あり

◆議員一人当たり

月額294,000円・年額4,824,540円

①多 い	174人	37.3%
②適 当	185人	39.7%
③少 ない	25人	5.4%
④わ かり ない	77人	16.5%
⑤未 回 答	5人	1.1%

問 議員の人数（14人）について、どう思われますか

①多 い	145人	31.2%
②適 当	182人	39.1%
③少 ない	13人	2.8%
④わ かり ない	112人	24.1%
⑤未 回 答	13人	2.8%

問 政務活動費について、どう思いますか

◆議員一人当たり月額10,000円

①多 い	68人	14.6%
②適 当	217人	46.7%
③少 ない	75人	16.1%
④わ かり ない	97人	20.9%
⑤未 回 答	8人	1.7%

問 議会だよりを読んでいますか

①全部読んでいる	87人	18.7%
②関心のある部分のみ	281人	60.4%
③読まない	94人	20.2%
④未回答	3人	0.7%

問 選んだ町議会議員の活動に満足していますか

①満足	44人	9.5%
②やや満足	148人	31.8%
③不満足	96人	20.7%
④わからない	161人	34.6%
⑤未回答	16人	3.4%

問 現在の町議会議員の名前を何人知っていますか

①0人	29人	6.2%
②1人	52人	11.2%
③2～5人	221人	47.5%
④6～10人	107人	23.0%
⑤11人以上	44人	9.5%
⑥未回答	12人	2.6%

問 若者や女性の立候補者が少ないとの意見がありますが、どう思いますか

①そう思う	308人	66.2%
②そうは思わない	72人	15.5%
③わからない	78人	16.8%
④未回答	7人	1.5%

問 若者、女性議員を増やすためには、どのようにすべきだと思いますか (複数回答可)

①出席しやすい議会開催日 (土日、夜間など)への変更	187人	30.9%
②議員報酬の見直し	47人	7.7%
③仕事しながらでもできるよう勤務先の協力	243人	40.1%
④わからない	66人	10.9%
⑤その他	43人	7.1%
⑥未回答	20人	3.3%

問 あなたの地区に議員は必要だと思いますか

①必要だと思う	313人	67.3%
②必要ではない	63人	13.6%
③わからない	75人	16.1%
④未回答	14人	3.0%

問 議員報酬は生活のための報酬だと思いますか

※重複回答あり

①そう思う	139人	29.8%
②そうは思わない	232人	49.8%
③わからない	83人	17.8%
④未回答	12人	2.6%

問 現在の町議会をどのように評価しますか

①おおいに評価する	9人	1.9%
②ある程度評価する	201人	43.2%
③あまり評価しない	121人	26.0%
④まったく評価しない	24人	5.2%
⑤わからない	106人	22.8%
⑥未回答	4人	0.9%

問 あなたの意見や町民の声が町議会に反映されていると思いますか

①思う	12人	2.6%
②やや思う	132人	28.4%
③思わない	203人	43.6%
④わからない	113人	24.3%
⑤未回答	5人	1.1%

問 親類、知人以外の葬儀への議員の参列についてどう思いますか

①必要である	35人	7.5%
②必要ない	385人	82.8%
③わからない	39人	8.4%
④未回答	6人	1.3%

問 議員、議会に期待することは何ですか

(複数回答可)

①町執行機関の監査・チェック	171人	18.6%
②地域・住民意見の代弁者	290人	31.6%
③維持・発展のまちづくり	304人	33.2%
④政策提案者	104人	11.3%
⑤期待していない	36人	3.9%
⑥その他	5人	0.6%
⑦未回答	7人	0.8%

問 町議会議員の選挙に行きますか

①毎回行く	376人	80.9%
②気が向いたら行く	64人	13.8%
③行かない	17人	3.6%
④未回答	8人	1.7%

問 主な意見・要望について

(10代男性)

近年、若者の議会への興味が薄れる傾向があるので、議会の活動及び打ち出した政策についてわかりやすく知ってもらう工夫がいると思われる。

(10代女性)

私は高校生で、最近選挙権を獲得したばかりですが、町議会のことや議員の選挙のことは、よくわかりません。活動内容などを学校で講習してくれたら助かります。

(20代女性)

若者は政治・議会から離れてしまっている気がします。もっと親しみやすい、わかりやすい内容で、議員さんは身近な存在でいてほしい。議会中に寝ていたり、不正があったりと印象が良くないのも事実です。それでもその印象に負けず、良い町をつくってほしい。

(30代男性)

町民数に対して議員数が多すぎると思う。ちゃんと活動する人にすれば議員数を減らせて議員1人当たりの報酬を上げられると思う。そうすれば若い人もやる気になると思う。

(30代男性)

議員報酬を下げてでも議員数を増やし、民意を吸い上げるようにしてほしい。

(40代女性)

複数人の女性議員枠を確保できるような仕組みづくりに期待します。

(50代男性)

四半期に1回は町政報告会や研修会等を開催すればと思う。

(50代女性)

今の議員報酬が支払われているのであれば、副業収入は必要が無いのではないかと。副業にかかる時間を町のためにかけてほしいです。議員定数も10人で十分だと思います。

(60代以上男性)

政務活動費は増やしても良いと思う。しかし、使用明細をきちっと開示すべき。ネット公開も実施してほしい。

(60代以上男性)

議員報酬は月額ではなく、議会が開いている日数分で、日額がよい。

(60代以上男性)

単なる地域の代弁者ではなく、町全体の発展を考える議員であってほしい。働きながら議員を兼ねるのは問題。

(60代以上女性)

1地区に最低1名の議員を、配置できるようなシステムが望ましいと思います。小さな地区にも光を。

(60代以上女性)

議員の人数について、世間一般に減少と言いますが、入善町議員数は適当だと思います。1議員の活動に限界があります。少数ですと無理が生じ中途半端になります。

楽しかった クリスマス会

飯野保育所

飯野保育所には、現在95名の元気な子どもたちが通っています。

飯野保育所ならではの広々とした廊下には、大きなクリスマスツリーが飾られ子どもたちの目を楽しませていきます。12月に入ると子どもたちは、折り紙やペットボトルなどを使ってリース



やツリーなどの飾りを作り、サンタクロースが来るのを心待ちにしています。

先日、一足早いクリスマス会がありました。サンタさんが、大きなプレゼントの袋を抱えて入ってくると、小さいひよこごみのなかにはびっくりして泣き出す子ども・・・でも、先生に抱っこされ泣きながらも、しっかりと手を伸ばしてプレゼントをもらう姿がなんとも可愛らしかったです。

サンタさんに聞いてみたいことを質問したり、一緒にフォークダンスを踊ったり写真を撮ったりして、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。「また来年も来るよー♪」という嬉しい約束をしてもらい、笑顔の子どもたちでした。いろいろな行事を通して楽しさや驚きなどを味わい、人とのふれあいが広がっていったほしいと思っています。(所長記)

外遊び楽しいな!

栢山保育所

栢山保育所には、現在106名の元気な子どもたちが入所しています。

保育所の西側と南側には住宅街が広がり、近くを国道8号線が通っています。園庭から大きな作業車やトラックが通るのが見えると、子どもたちは大喜びです。

栢山保育所の自慢できるところは、何と言っても広い園庭とスキー山です。子どもたちはこの園庭とスキー山で遊ぶことが大好きです。特にスキー山には大きな桜やクヌギなどいろいろな木があり、1年を通して自然に触れながら遊ぶことができます。草花摘み、かたつむりやカエルや虫探し、木の実や落ち葉拾い、そして雪が積もるとそり滑りを楽しんでいきます。大きな土管もあって、鬼



ごっこやかくれんぼなども楽しんでいきます。

また保育所に隣接する交流センターは、お茶教室や運動遊びで利用させてもらっています。特にお茶教室では、年長児が年間を通して地域の方々より指導していただき、自信につながっています。自然に触れながら、いろいろな体験を通して心豊かな子どもたちに育って欲しいと思っています。(所長記)

編集の窓

平成29年は、雪のない、穏やかな正月を迎えることができました。

今年は、トランプ大統領就任に代表されるように、世界各国の指導者が、大きく様変わりする年となりそうです。また、入善町のコシヒカリが中国に輸出される時代へとなりました。

政治や経済が、大きな変化をもたらす年となっても、町民の皆さんの生活が、息災で、心安らぐ一年となりますよう願うものです。

入善町議会は、町民の信頼を失うことのないよう努めてまいりました。

本年も、皆様のご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

議会広報編集特別委員会

議長	鬼原 征彦
委員長	佐藤 一仁
副委員長	中瀬 淳哉
委員	松澤 孝浩
〃	野島 浩
〃	本田 均
〃	井田 義孝